

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・通年・A群
	対象学科・専攻	電気電子, 電子制御工学科
英語 (English)	担当教員	坂元 真理子 (Sakamoto, Mariko)
	教員室	図書館2階 (tel 42-9067)
	E-Mail	sakamoto@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義 / 履修単位 / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 30回	
〔本科目の目標〕 英語を聞く・話す・読む・書くための力を伸ばす。自分の力で英文読解や英作文ができるようになることをめざす。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。		
〔本科目の位置付け〕 1年次の英語 で習得しているべき基礎的な英語力が必要である。本科目を履修し、3年次の英語につなげる。		
〔学習上の留意点〕 英和辞典を必ず持参すること。予習・復習を十分に行ない、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。 構文の内容が確認できたら暗唱できるくらいまで何度も音読すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 文法 (比較級・最上級)	4	比較級・最上級の構文を理解し正しく使用することができる。
2. 関係代名詞(who, that, which, what)	4	関係詞の構造や性質について理解し、適切に使用することができる。
3. 文型 (SV0/O=what節, if節)	4	第3文型の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。
4. 聞くことと話すこと、読むことと書くこと --- 前期中間試験 ---	2	話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。 授業項目1~4について達成度を確認する。
5. 文法 (分詞の後置修飾)	2	現在分詞・過去分詞の後置修飾を理解し、正しく使用することができる。
6. 文型 (SV00/O=that節, what to)	4	さまざまな第4文型 (O= that節 / what to / what節 / whether / if節)
7. 文型 (SV00/O=what節)	4	について理解し、適切に使用することができる。
8. 文型 (SV00/O=whether/if節)	4	話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。
9. 聞くことと話すこと、読むことと書くこと --- 前期期末試験 ---	2	授業項目5~9について達成度を確認する。
10. 文法 (接触節)	1	接触節の構文について理解し、適切に使用することができる。
11. 文法 (関係副詞where)	4	関係副詞 (where / when / why) の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。
12. 文法 (関係副詞when)	4	
13. 文法 (関係副詞why)	4	
14. 聞くことと話すこと、読むことと書くこと --- 後期中間試験 ---	1	話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。 授業項目10~14について達成度を確認する。
15. 文型 (SVOC/C=形容詞)	2	さまざまな第5文型 (C=形容詞 / 動詞の原形 / 動詞のing形) について
16. 文型 (SVOC/C=動詞の原形)	4	理解し、適切に使用することができる。
17. 文型 (SVOC/C=動詞のing形)	4	It ~ that節の構文を理解し正しく使用することができる。
18. 文法 (It ~ that節)	4	
19. 聞くことと話すこと、読むことと書くこと --- 後期期末試験 ---	2	話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。 授業項目15~19について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解出来る。
〔教科書〕 EXCEED English Course Series		
〔参考書・補助教材〕 EXCEED English Course Series ・ ワークブック、ウィズダム英和辞典、速読英単語必修編		
〔成績評価の基準〕 中間および期末試験成績(60%) + 小テスト・レポート等(40%) - 授業態度(上限20%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 2-b		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		